

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪学院大学高等学校	階数	地上4F
建設地	大阪府吹田市岸部南2丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第1種住居地域、防	平均居住人員	1,200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,616 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2018年4月2日
敷地面積	14,322 m ²	作成者	内田
建築面積	2,307 m ²	確認日	2018年4月3日
延床面積	6,978 m ²	確認者	西内



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	84%
③上記+②以外の	84%
④上記+	84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.2
温熱環境	2.4
光・視環境	3.9
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

機能性	4.0
耐用性	3.2
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.6
地域環境	2.4
周辺環境	2.5

3 設計上の配慮事項		
総合	建築設計と設備設計で主に環境配慮を行っております。特に、室内環境の快適性、建物のメンテナンス性、空調設備の省エネルギー化に最大限に取り込むことで、建物の経済性とアイデンティティーを持ちながらも、環境に配慮した計画を実現しています。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口を大きくとり、バルコニーを設けることで、省エネに配慮しながらも快適な室内環境を維持できるように計画しています。	建物の維持・管理、使いやすさに配慮しつつ、内装の木を使用することで居心地の良い空間を演出しています。	高等学校に必要な機能を満たしつつ、敷地内の緑化に取り組んでいます。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建設コストを抑えつつも、外皮性能と設備システムの効率化を高めることで、省エネルギー化を図っています。	水資源保護の観点から、ほとんどの衛生設備に節水器具を採用しています。	近隣に砂塵等の被害が及ばないように配慮し、グラウンドに人工芝舗装を採用しています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-変-0017

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪学院大学高等学校					
	建設地	大阪府吹田市岸辺南2丁目7-3他17筆					
	用途/区分	学校(小中高)					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.4	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		